



国民の森林・国有林

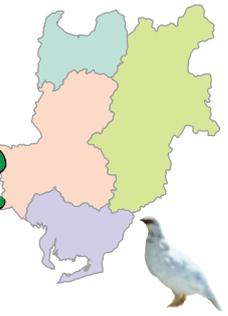
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575 長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



9月の見どころ聴きどころ④—仲秋の戸隠、鏡池に写る戸隠連峰（撮影10月7日）
（香川県 黒島犬さんからの投稿）

主な項目	○ 本局のトピックス（国有林おさんぼMAPを作成ほか）	P 1
	○ 各地からのたより	P 3
	○ シリーズ「ご当地自慢」	P 9
	森林でのお仕事紹介コーナー	
	☆「森林官からの便り」	P10
	☆「森林・林業界からの便り」	P11
	☆「林業土木業界からの便り」	P12
○ 11月の見どころ聴きどころ	P13	



「保全課、技術普及課」

中部森林管理局では、国民の皆さんに、「散歩を通じた健康づくり」に国有林のフィールドを活用いただくことを目的に、この度「国有林おさんぼMAP」を作成しました。

国有林だからこそ提供できる各地の多種多様な森林フィールドを活かし、日常に習慣づけたい一時間程度のウォーキングに最適なコースを四十四箇所ピックアップ。

注目すべきは、現代のライフスタイルに合わせ、スマートフォンやタブレット端末に対応。MAPをダウンロードしても、そのままの画面で見やすい文字サイズ、もちろん、印刷して持ち歩く方のために個別印刷、一括印刷にも対応しています。

街中の散歩では運動不足、登山なんてとても無理、という健康志向の方（主に中高年齢層）をターゲットに、いつもどおりのスニー

カーで飲料水とタオルを片手に、「ちよどい」運動で汗をかけるコースが満載。

MAPには、実際に歩いた職員年代や身長を掲載し、所要時間や歩数を目安にしてコースを選んでもいただけるよう工夫しており、全編が中部森林管理局職員によるオリジナル製作です。

紅葉シーズン真っ盛り、是非好みのルートをダウンロードして、天気の良い休日にお出かけになつてはいかがでしょう。



国有林おさんぼMAP

掲載URL

<http://www.rinyamafi.go.jp/chubu/welcome/invitation/sanpo-map.html>

**より優れた
コンテナ苗を目指して
シンポジウムを開催**

「森林技術・支援センター」

八月二十一日、中部森林管理局と岐阜県共催で、岐阜県下呂市民会館において、「優良ヒノキコンテナ苗の普及に向けたシンポジウム」を開催、岐阜・長野・愛知県からコンテナ苗生産者、林業事業者、行政担当者等約百十名が参加しました。

中部森林管理局と岐阜県では、平成二十六年から優良ヒノキコンテナ苗の普及に向けた実証試験を共同で重ね、毎年検討会を実施してきました。

今年度は、試験研究を重ねて五年目になることから、優良ヒノキコンテナ苗の開発と普及をテーマ



容器から抜かれたコンテナ苗
(左側ヒノキ、カラマツ、カラマツ)

にシンポジウムを開催しました。

基調講演では、国立研究開発法人森林総合研究所の宇都木研究ディレクターから、「全国的なコンテナ苗研究の最新の動向」と題して、再造林の考え方からコンテナ苗の未解決課題（播種、育苗、植栽成績など）について、また、岐阜県森林研究所の茂木主任専門研究員から、「低コスト再造林を推進するための岐阜県にあったヒノキ苗の開発」と題して、植栽効率の良い根鉢の短いコンテナ苗の開発などについての講演をしていただきました。

パネルディスカッションでは、コンテナ苗を作る側、植える側による現場の意見や行政の意見、今後の再造林に求められるヒノキコンテナ苗についての意見交換が行われました。

今後関係機関と連



宇都木氏の基調講演

携してコンテナ苗の試験調査・普及に努めて参ります。

教職員を対象に 体験学習会を開催

「木曽森林ふれあい推進センター」
八月七日、長野県木曽郡内の教職員を対象とした「森林・林業体験学習会」を、木曽町の御料館（旧帝室林野局木曽支局庁舎）及び城山史跡の森（城山国有林）で実施しました。

この学習会は、小・中学校の教職員に森林環境教育の重要性やその知識を高めてもらい、学校での総合的な学習時間のプログラム作り役立ててもらおうことを目的に、長野県との共催で、平成十四年度から実施しているもので、今回で十七回目となります。

当日は木曽郡内の小中学校教職員七名、関係者四名の計十一名で木工体験、森林散策を行いました。

今回は開催場所を城山史跡の森としたことから、木曽森林管理署と「多様な活動の森」の協定を締結してこの場所を活動拠点として

いる「城山史跡の森倶楽部」から講師を派遣していただきました。

木材を使った木工体験として、ミニイスとマイ箸を製作した後、城山史跡の森を散策しながら、植物・樹木の見分け方や治山施設等の役割について学びました。

参加した先生からは「楽しく参加する中で、木曽の森林について理解を深めることができた」、「今回の学習会を機に木曽で教員をする人間として森林、自然についてもっと知識を深めたい」、「ミニイス作りを授業に取り入れたい」などの感想が寄せられました。



森林散策を体験

緑のオーナーの会 交流会を開催



「森林整備課」

八月三十一日、第三十回「ながの緑のオーナー友の会交流会」が東信森林管理署管内の湯の丸高原、池の平湿原で開催されました。

この会は、長野県内で分収育林契約をされている方で、親睦と森林とのふれあいを目的とする趣旨に賛同された方々が集う会で、会員により運営されています。

当日は、伊藤会長をはじめ、東京方面や名古屋方面からの会員の方々も含めた二十五名が参加され、交流会事務局である日本森林林業振興会長野支部の有井総務部長と、湯の丸高原を管轄している東部森林事務所の宮坂地域統括森林官の案内により湯の丸高原にある池の平湿原を散策しました。

散策ではマツムシソウやリンドウなどの高原性の植物も散見でき、参加された会員の方々は花や風景の写真を撮影しながら、花高原といわれる湯の丸高原を楽しん

でいました。

中部森林管理局としても、このような機会を通じてオーナーの皆様と直接交流し、国有林野事業の業務内容を理解いただくことは有意義なものと考えており、引き続き交流会の開催に協力していきたいと考えています。



マツムシソウの花



参加したオーナーの皆さん

各地からのたより

高山植物などを守るため

パトロールを実施

〔東信森林管理署〕

高山植物等保護対策協議会東信地区協議会では、夏山登山等で多くの人が東信地域の山岳を訪れる時期である八月一日から七日を「高山植物等保護対策強化週間」に設定しており、これに合わせ、高山植物の採取といった違反者の取締り、高山植物などの保護啓発活動やゴミ拾いなどを行う公開パトロールを、八ヶ岳硫黄岳周辺で八月二日・三日に、白駒池周辺で八月三日に実施しました。

今回新たな取組みとして実施した硫黄岳周辺での公開パトロールでは、職員のほかに長野県佐久地域振興局、南牧村観光協会の方々にもご協力いただき、過去に発生したハイマツ無権限伐採や高山蝶を採取したと思われる跡地に設置したカメラのデータ確認、山頂における登山者へのチラシ配布などによる高山植物等保護啓発活動、

ゴミ拾いなどを行いました。

公開パトロールの結果、高山植物等の採取や踏み荒らしといった違反者はなく、ゴミもほとんど落ちていない状況であり、登山マナー、高山植物等保護意識が高まっていくと感じられました。一方で、稜線付近でもニホンジカが見かけられ、シカによる高山植物への被害防止対策の取組強化が必要と感じられました。

パトロール中、登山者から「お



トレイルランナーへチラシを配布

疲れ様です」「がんばってください」といった言葉をかけられました。こうした期待に応え、これからも高山植物等保護活動を進めていきたいと考えています

「ついで見回り・通報」

基本合意書調印・初捕獲！

〔南信森林管理署〕

八月八日、「ついで見回り・通報」の基本合意書の調印が、上伊那郡猟友会、宮下建設㈱（伊那市）、当署の三者により行われました。

この基本合意は、国有林内で効率的にニホンジカを捕獲するため、工事現場までの林道等沿線及び工事現場周辺に猟友会が仕掛けた「くくりワナ」にニホンジカが掛かっていた場合、現場作業地に通勤する宮下建設社員が猟友会へ連絡し、速やかな捕獲につなげるものです。

「ついで見回り・通報」は、近年、猟友会員の高齢化、減少に伴いワナの見回りに負担が大きいため、その対策として、本年度から中部森林管理局管内で取り組



中部森林管理局管内で初めての調印終了後

んでいるもので、今回、局管内で初めての調印となりました。

調印を受け、八月三十日に上伊那猟友会の各支部長十二名で安全確認・現地確認を行った後、工事現場周辺、林道等の沿線の鹿道に当署から貸出した「くくりワナ」を設置しました。経験豊富な支部長さん達だけあって鹿道の見極め、設置場所の選定、設置まで手際よく作業を進め、三十三基を設置しました。

翌八月三十一日の午前八時過ぎに宮下建設の現場代理人から「ニホンジカがワナに掛かっている」と猟友会に通報が入り、三頭の雌

ジカが捕獲されました。
 竹入上伊那郡猟友会長は「早々に連絡を受けて捕獲できた。猟友会員も高齢化のため、見回る負担が軽減され空振りも無くなるので、森林管理署、宮下建設に大変感謝している。この地域のニホンジカの生息密度は高いと感じている。更にワナの設置数を増やして捕獲を促進したい。また、今回の取組を他の地域にも拡大させて国有林内でのニホンジカの捕獲に協力していきたい」と話されました。



シカワナを設置する猟友会員

その後も捕獲が進み、九月二十日現在で三十頭を超えており、今後も順調に増え、成果が上がることを期待しています。

当署では、今回の成果を基に諏訪地域でも基本合意に向けて取り組んでいます。

夏休み「親子体験」と、自由課題応援企画

「丸太切り体験」を実施

「名古屋事務所」

八月二十三日、名古屋事務所と名古屋市熱田図書館が連携して「熱田白鳥の歴史館」で森林の学習及び木工体験を実施しました。

イベントには親子九組が参加し児童を対象にした森の話や実験を行った後、ボランティア（FCA（フォレスト サークル あいち））の方々の指導で丸太切り・クラフトとミニイスづくり体験を行いました。

森のお話は、当所砂留指導官お手製の実験装置を用いて、緑の山と緑の無い山に雨が降るとどうなるか実験を行いました。

子供たちからは「木が無い山は表面を水が流れる」、「緑の山は水

がゆっくり出る」など、実験を見ている感想があり、緑の大切さについて学んでもらうことができました。

森のお話が続いて、丸太切り、ミニイスづくりを体験しました。丸太切りでは、初めて使うノコギリに悪戦苦闘しながらも子供たち全員が体験しました。ミニイスづくりでは、ボランティア（FCA）に手伝ってもらいながら木の温もりが感じられる作品を完成させていました。

併せて、夏休み特別企画「丸太



実験を観察する子供たち



ミニイスづくり

切り体験」も実施し、日頃、木に触れる機会が少ない都市部の子供たちに、木の良さ、温もりなどを知ってもらいました。

お盆休みを利用した親子や夏休みの自由課題の作品制作のためなど多くの親子が訪れ、子供たちは汗を拭いながら丸太切りに挑戦し、切った丸太に思い思いの装飾をして夏休みの作品を完成させていました。

名古屋事務所では、他の機関と連携した取組や独自の企画で、地域の方々に森林の大切さや木材利用について知っていただけるよう取り組んでいます。

「ついで見回り」に向け

顔合わせ

「愛知森林管理事務所」

中部森林管理局では、平成三十

年度の重点取組事項として、国有林内で各事業を実施する請負事業体によるニホンジカの「ついで捕獲・ついで見回り」の試行的な実施を行っています。

当所では、今年度の事業スタート以降、管内国有林内で事業を実行する各請負事業体に対してこの取組への協力要請を行ってきたおり、その結果、現時点で十社から賛同をいただいています。

この取組は、猟友会、請負事業体、当所の三者にとって初めてのことであり、円滑かつ安全な実施に向けては、この三者による事前の十分な打ち合わせが必要であることから、八月二十九日に当所で開催した「国有林内におけるニホンジカ等の捕獲に関する協定」の締結式にあわせて、猟友会と請負事業体との顔合わせを行いました。

この顔合わせには、新城森林組合、(有)根尾開発、(有)サンアイ、(一財)森林・林業調査研究所の四社が出席し、出席した請負事業体を代表して、新城森林組合の山本勝利代表理事組合長から

「これまで国有林で作業をする中で、ニホンジカを見かける機会は多くあった。山を守る仕事をするものとしてニホンジカ対策に協力していきたい」などの力強い挨拶がありました。

顔合わせのセレモニー後は会場を移し、猟友会と各請負事業体との間で、見回りや通報の方法など詳細の打ち合わせを行いました。その席上、猟友会の村松会長からは、「ワナ捕獲の際の見回りは猟師にとって大きな負担であり、今回の協力には大変感謝している」



力を合わせて山を守ることを約束

などの発言が、また、請負事業体からは「国有林でのこの取組がうまくいけば民有林へも広げていきたい」などの発言がありました。



詳細な打ち合わせの様子

これまで同じ国有林内ですれ違うこともあった者どうしが、こうして連携していくことで、ニホンジカの捕獲を一層進めることはもとより、森林、国有林を応援いただく体制構築にもつながるものと期待されます。

雨の中、

百二十人が藪刈りに奮闘

〔東信森林管理署〕

九月八日、浅間山国有林において、「軽井沢町西地区国有林藪刈り実行委員会」主催による藪刈り作業が、軽井沢町内の市民ボランティア、地元林業関係団体、成城大学学生等、総勢百二十名の参加により実施されました。

開会式の時点では大粒の雨が降る悪天候でしたが、作業手順を変更するなどして作業を行い、昼食後には雨も上がり、予定していた作業を完了することができました。



刈った草を集める参加者

この「藪刈り」は、人間の生活エリアと野生動物のすみやすい藪との間に、幅広く見通しの良い緩衝帯を設けることで、野生動物とのバッタリ遭遇や、不法投棄の防止等を目的として行っているものです。

住民が主役となった「手作りのまちづくり活動」の取組の一環として、軽井沢西部小学校北側の浅間山国有林二五ヶ所を対象に、平成十九年に成城大学法学部の打越綾子教授のゼミナール学生と数人の地元有志が参加して始まったもので、昨年度の中部森林管理局技術交流発表会では局長優秀賞を受賞しています。

今年で十二回目を迎え、今回は今まで藪刈りをしてきた箇所を刈り払いを復習作業として行いました。

雨の中での大変な作業でしたが、終わってさっぱりした林内を見ると、心が洗われるような爽やかさを覚えました。

作業後は近くの公民館で恒例の懇親会を行い「藪刈り」の継続を誓い合いました。



作業前



作業後

地元住民を対象とした

国有林見学会を開催

「北信森林管理署」

九月十三日、飯山市西大滝地区上流の、国有林野内治山事業「野々海川水源地域整備工事」箇所において、地元住民を対象とした国有林見学会を開催しました。

当日は、晴天に恵まれた中、地区長をはじめ地区住民の方々、飯山市役所関係者が参加し、当署の職員から治山事業の内容について説明を行いました。まず治山事業の目的・機能等についての説明を行い、その後は実際に施工している現地にて、工事概要を説明するとともに、意見・質問などについて意見交換を行いました。

現地は、コンクリート谷止工を施工している箇所であり、丸太残存型枠に、長野県産カラマツ間伐材を使用し、自然環境との調和、工期の短縮を図っていることなどの説明を行いました。

参加者からは「木材等の天然資材の活用は良いと思う」、「見た目も良い」といった感想が聞かれ、

普段あまり見ることのない丸太残存型枠について興味を持たれた様子でした。

また、谷止工の具体の工事方法等についても質問があり、それらの質問に対して、当署職員が具体的に、解りやすく説明し理解を得ることができました。

見学会の最後には、地区長より「この地区は、過去に大きな災害を経験しており、ここはあばれ川であることから、今後、地域の安心のためにも、治山事業の計画的な実施をお願いしたい」との要望がありました。



いつもは入れない施工中の現場を見学

地域住民の方々に国有林野事業を理解し、関心を持っていただくためにも、引き続きこうした取組を行っていききたいと思えます。

下呂市議会が

治山工事現場などを視察

〔岐阜森林管理署〕

十月五日、下呂市議会（産業経済常任委員会）による国有林現場視察が行われました。

この視察は、国有林の管理及び業務運営を地域住民に理解していただくため下呂市小坂町選出議員の方へご案内したところ、市議会側から同委員会による現地研修会を兼ねて実施したいと申し入れがあつて実現したものです。

今夏の豪雨など自然災害の発生もあり、奥地を管理している国有林に対しては防災上の関心が高いことから、当署としても安心・安全な管理経営を行っていることを知っていただくため、災害復旧の状況を視察していただいたもので、視察後には署会議室にて意見交換も行いました。

視察場所の赤沼田国有林では、

平成二十二年七月の集中豪雨で山地災害が発生したことから、平成二十三年から四年をかけて復旧治山事業を実施しており、復旧の様子を見ることができません。

当日、現地では、災害直後の様子やドローンで撮影した現在の様子などの写真も用いて、復旧事業の概要を説明しました。

参加者からは、それぞれの工法の具体的な質問のほか、「どのくらいの期間で事業が終了したのか」、「災害復旧事業の予算はどうなっているのか」などの災害発生時の対応に関する質問や、「こん



説明を聞く下呂市議会の皆さん

な山奥の事業でここに来るだけで大変だ」、「山の中で沢山の工事が行われていることに驚いた」など山間奥地の事業について感想が寄せられました。

その後、天保十三年に植栽された記録が残る国内でも希有な高齢級人工林である、「赤沼田天保ヒノキ」植物群落保護林を視察しました。

午後の意見交換会では、①平成三十年七月豪雨における被害状況と復旧計画について、②下呂市管内における治山事業の概要、③森林環境贈与税について職員が説明を行い、その後、山腹崩壊の予防や発生した後の対応、更に地域の林業振興なども含めた幅広い意見交換が行われました。

下呂市議会の方々が国有林の活動に関する関心を高め、理解を深めていただく良い機会になったと感じました。

浅間山麓で植樹イベント

（フジカーランド上田の森）

〔東信森林管理署〕

十月十日、浅間山国有林において



慣れない鋤を使つての植樹作業

て、今年三月二十日に（株）フジカーランド上田と契約した分収造林地（契約期間は二〇七九年まで）において、植樹イベントを行いました。

十月十日は（株）フジカーランド上田の創立記念日であり、その記念行事として、来年度新卒内定者を含む社員九十二名が植樹作業に汗を流しました。

開会式では、羽田憲史社長が、「車の販売に携わっているが、排気ガス等で環境に負荷をかけている。年を重ねるにつれ、自然との



植樹作業終了後に浅間山をバックに記念写真

共存共栄がいかに大事であるかを考えるようになった」と、分収造林契約に至った経緯を話されました。

作業は五班に分かれ、中部森林管理局、東信森林管理署、佐久森林組合の職員と一緒に、カラマツコンテナ苗二千本を植えました。慣れない山の斜面で慣れない道具を使つての作業でしたが、二人一

組で「ハイーツ、ハイーツ」と声を掛け合いながら、穴を掘り苗を植えました。

当日は好天にも恵まれ、社員からは「おいしい空気の中で貴重な体験ができ、感激しています」、「鋤を使つて作業することがないので、とても楽しかった」、「苦労して植えた苗の生長がとても楽しみです」との声も聞かれました。

今後は、(株)フジカーランド上田から委託を受けた佐久森林組合が主体となり、東信森林管理署と連携しつつ保育作業を行っていきます。

原木生産の大変さを実感!

国有林等視察交流会を開催

「東濃森林管理署・名古屋事務所」

九月十九日、上下流交流の一環として、名古屋木材組合加盟の業界関係者など二十五名が、東濃森林管理署管内の素材生産現場と恵那市内の製材工場を視察し、意見交換を行いました。

生産現場の岩村国有林に着いた参加者は、森林官より部内概要の



集材の様子を撮影して業務の参考に!

説明と素材生産事業地の事業内容の説明を受けた後、請負事業者である恵南森林組合による伐木造材作業の実演を見学しました。

初めて伐採現場を間近で見た若い参加者からは「上手に倒すなあ」などの声が聞かれました。実演後はその場で意見交換が行われ、参加者からは採材に関する質問などが、森林組合側からは原木の加工・流通について見学したいとの要望などが出されました。

午後は恵那市内にある恵那小径木加工協同組合へ移動、原木から柱材を中心とした製品に加工される製材工程を見学しました。



製材工場を見学する参加者

見学後の意見交換では、原木の調達先状況などについて質問が出されました。組合側から「規模は小さいが国産材を少しでも利用していただけるように頑張る」との話がされると、参加者から応援の拍手が送られる場面も見られました。

参加者アンケートには「実際の作業を見て大変さがわかった」などの感想が寄せられ、また機会があれば参加したいという回答も多くありました。

今後もこのような機会をつくり、木材利用及び上下流交流を推進したいと考えております。



野麦峠より

育つそばは、とても風味が良く、昨年、人気番組「月曜から夜更かし」で出演のマッコ・

長野県松本市奈川地区は、市域の南西に位置します。周囲を二千級の連山に囲まれ、西には乗鞍岳を望み、野麦峠方面から南北に流れる奈川の湖畔に沿って集落が点在しており、夏は涼しく大変過ごしやすい地域です。
◇当地の自慢は、全国のそば通をうならせる奈川の風土と人々が伝える「奈川在来」と「とうじそば」です。初秋の朝霧に立ち込めるその下で

ご当地自慢

松本市奈川地区

67

中信署

るその下で育つそばは、とても風味が良く、昨年、人気番組「月曜から夜更かし」で出演のマッコ・
◇上高地乗鞍スパ―林道そば、秘

奈川在来そばまつり、十一月十日から十八日。寒中とうじそばまつり、二月二日から十一日。ほかにもイベントがあります。
◇毎年九月から十月にかけて、日本の山や里で繁殖したタカが東南アジアへ越冬のため立ち寄る場所となっており、県外からも多数の方がカメラを携え観察に来ています。
タカの渡りを観察に来ませんか。
時期によっては、数千羽のタカたちの壮大な光景が見れるかも！



とうじそば



デラックスさんからも、絶賛されています。

境の雰囲気漂う奈川での宿泊はいかがですか。
奈川は古くは中世から整備された「鎌倉街道」、「野麦街道」があり、現在もほかでは見られないほど石仏群が多く点在しています。
泊まる場所には、奈川温泉・新奈川温泉・渋沢温泉などがあります。地元のそば・山菜・川魚を堪能できますよ。
◇自然を満喫されたい方は奈川のキャンプ場は、いかがですか。
奈川には、高ソメキャンプ場と野麦峠オートキャンプ場の二箇所

境の雰囲気漂う奈川での宿泊はいかがですか。
奈川は古くは中世から整備された「鎌倉街道」、「野麦街道」があり、現在もほかでは見られないほど石仏群が多く点在しています。
泊まる場所には、奈川温泉・新奈川温泉・渋沢温泉などがあります。地元のそば・山菜・川魚を堪能できますよ。
◇自然を満喫されたい方は奈川のキャンプ場は、いかがですか。
奈川には、高ソメキャンプ場と野麦峠オートキャンプ場の二箇所



タカ見の広場より



ががあります。どちらも設備が完備しています。
奈川の溪流で釣れたヤマメやイワナ時にはサクラマスなどを焼いて食べるのはいかがでしょう。夜の星空を見るのも良いですよ。



野麦峠オートキャンプ場

部内には日本百名山の聖岳（標高三、〇一三メートル）、光岳（二、五九一メートル）、二百名山の上河内岳、池口岳、三百名山の茶臼岳など南アルプス南部の美しい稜線が続きます。地学的特徴を広く普及する目的で、伊那谷に沿う中央構造線

一般的には遠山郷と呼ばれるこの地域は、南アルプス（赤石山脈）の南部西側と伊那山地に挟まれた典型的な山村地域にあたります。

南信署 上村森林事務所

首席森林官 白子和広



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



富士と高山蝶（南アルプス 南岳）

エリアが南アルプス・ジオパークに登録され、二〇一四年には南アルプス全山域が、生態系の保全と持続可能な活用の調和（自然と人間社会の共生）を目的としたユネスコ・エコパークに登録されています。

本年七月十四日から十六日にかけて、聖岳南方の聖平において、静岡県が実施する植生復元活動に南アルプス食害対策協議会として参加しました。

ニホンジカによる食害の影響で土砂流出や乾燥化が進み、ニッコウキスゲを中心としたお花畑が消

滅するなど深刻な状況にあることから、静岡県職員と静岡県募集ボランティア（約三十名）、飯田・伊那市職員と長野県側ボランティア（約十名）が、平成十四年度以降設置されてきた防鹿柵の補修とスポット的な小型柵設置、植生マットによる表土流出防止対策の修繕に加え、聖岳から上河内岳間の清掃登山を行いました。

登山と作業で、かなりきつい内容でしたが、ボランティアをはじめめとする参加者の皆さんは満足そうに下山していきました。

当事務所でも、有害鳥獣駆除として、ニホンジカを対象に（くくり罠）により年二十五から五十頭の捕獲をしています。その他にも



植生マット（ヤシマット）設置

■未来の担い手へのメッセージ

日々の林野巡視をはじめ、未来に育ていく森林を思い描きながらの森林施業、ニホンジカ対策や突発的な山火事、山地災害の対応などを行っていく上では、地元、地域をはじめとする多くの方々のご協力と民有林行政との連携が重要と、日々感謝し職務を行ってまいります。

多くの方々と大自然の力にて森林は永遠に引き継がれます。来たるこの美しき森林の若人として！

日々の林野巡視をはじめ、未来に育ていく森林を思い描きながらの森林施業、ニホンジカ対策や突発的な山火事、山地災害の対応などを行っていく上では、地元、地域をはじめとする多くの方々のご協力と民有林行政との連携が重要と、日々感謝し職務を行ってまいります。



上村森林事務所の二名
左側が筆者

もり 〈森林でのお仕事紹介コーナー（森林・林業）〉

受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の植林や間伐などを行う森林・林業事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。



飛騨市森林組合

畑中 隆宏

(二〇〇八年入社)



集材中に一休み (畑中さん)

■事業の概要

請負事業・森林環境保全整備事業 (保育間伐活用型)

飛騨一〇)

発注者・飛騨森林管理署

高山市国府町地内保木協ほきわき国有林

および飛騨市宮川町地内屋敷ヶ洞やしきがほら

国有林の五八・八九鈔を間伐しま

す。列状間伐による間伐率三〇%、作業路開設による路網整備、チェーンソー及びハーベスタで伐倒、グラップル・ウインチで集材、造材はハーベスタ、フォワーダによる搬出等、高性能林業機械作業システムにより一、九〇〇立方メートルの間伐材を搬出する森林環境保全整備事業です。

■現場での役割・魅力

林業のやりがいとして一番は、やはり施業した後良い森、良い山になったと実感できるときだと思えます。そして、何年か後に元気に成長したその森を見たとき、もっと実感できます。

この飛騨の地は、針葉樹よりも広葉樹の森の方がかなり多く面積を占めています。近年当組合は、広葉樹施業にも力を入れていきます。スイスからフォレストアを呼んで学んだり、広葉樹の樹種を学んだりすることは、新鮮でとても楽しいです。

これに限らず色々なことを学べることや必要な資格取得ができるのは、とてもうれしい環境です。施業する現場がそれぞれ違う中



スギの林

で、どうしたら効率的にできるか考えなければならぬことは、プレッシャーでもあり励みでもあります。個人的にもチームとしても失敗を繰り返しながら、少しずつ技術が身につけてきていることは、労働生産性に表れていると思います。

当組合の労働生産性が全国でもトップクラスだと聞きますが、仕事への意識がそうさせているのだと思います。

■森林・林業の世界に入ったきっかけ

森林・林業の世界に入ったきっかけは、特にはないのですが、同級生の友が先に当組合で働いており、自然の中の仕事は楽しいと言っていたことも一つのきっかけです。

地元で建築の仕事がしたいと専門学校を卒業しましたが就職先が無く、元々木や木材に興味を持っていたことから、それに係わる仕



木材運搬の様子

事がしてみたいと思いいこの仕事に就きました。最初は体力的にきつい仕事でしたが、徐々に奥の深い仕事だなあと興味がわいてきました。
■未来の担い手へのメッセージ
林業は、正直とてもきつくて危ない仕事だと思えます。ですがそればかりではなく、やってみないと分からないやりの魅力がまだまだたくさんあります。自然の中で仕事をするのはとても気持ちが良いものです。林業も人手不足で若者が少ないですが、機械化が進むなか若い人の力が必要で、少しでも興味のある方は、是非一度職場見学に来てください。



下請業者と打ち合わせする佐伯さん（中央）

発注者：中信森林管理署

事

請負工事：蒲原沢 4 復旧治山工

■事業の概要

（二〇一八年入社）

佐伯 尚也

株式会社 相模組



受注してくださる民間事業者あつての国有林。そこで、国有林の林道や治山工事などを行う林業土木事業者からの投稿をもとに、頑張っている若者や女性技術者などを紹介していきます。

■現場での役割・魅力
今回私が携わる工事は、土砂災害の起こりうる現場で地域住民の方たちの安全を守るための工事です。この工事を通して住民の方とのコミュニケーションを図りつつ安全を守るというのが一番のやり



山腹崩壊地上部の様子

平成八年十二月に土石流災害で多くの犠牲者を出した蒲原沢は、急峻な谷間を流れ法面からの崩落等で、川をせき止め災害を引き起こすことから、植生基材の吹付により上流部の法面を保護する工事です。

■林業土木の
世界に入ったきっかけ
私がこの職業に就いたのは、兄がこの業界に携わる職場で働いていたのがきっかけでした。
兄の仕事の話を聞いたり実際に現場を見せてもらったりしているうちに、私もこのような仕事をし

がいたと思います。当社では地域住民の方々の安全・安心を心がけて仕事をしていますので、今回の工事でも無事故・無災害でやりたいと思います。



朝のミーティングの様子



鋼製柵床固工

てみたいと思ったのが始まりです。
■未来の担い手へのメッセージ
この職業で私が思うことは、工事が進むにつれ、日々変化していく現場にあると思います。自分が携わってきた工事が進むにつれ、達成感が味わえます。
皆さんもこのやりがいのある職業と一緒に体感しましょう！



上旬

①上旬 鏡池 (北信署 長野市)

鏡池周辺から眺める戸隠山の紅葉と、静かな水面に写る山谷を訪れる人を魅了します。



②上旬 野々海高原 (北信署 飯山市・栄村)

標高一、〇二〇以上の野々海高原は、ブ

ナの原生林に囲まれており、広大な野々海池に映る紅葉が美しい。

③上旬 秋山郷 (北信署 栄村)

長野県栄村から新潟県津南町の県境を流れる中津川溪谷と苗場山・鳥甲山などの山々の紅葉は絶景。特に、落差二十以上の「夫婦滝」手前の大岩を彩るカエデやモミジの紅葉は見事です。



④上旬から中旬 松本城の紅葉 (中信署 松本市)

お堀の桜とドウダンツツジが紅く染まります。お堀の外から黒い天守閣と北アルプスの紅葉を見るのもお勧めです。

⑤上旬 中房溪谷 (中信署 安曇野市) 北アルプスの麓の中房は温泉地として有名です。湯煙と紅葉が心を癒やしてくれます。

⑥上旬 開田高原の紅葉狩り (木曽署 木曽町)

開田高原は紅葉シーズンが訪れると高原本体が美しく染まる絶景スポット。特に、旧飛騨街道に通じる地蔵峠と高原の途中にある九蔵峠から眺める霊峰御嶽山の眺望は見事。国有林を源泉とする清流の水を使って打った「新そば」は絶品です。

⑦上旬 寢覚の床紅葉 (木曽署 上松町)

「木曾八景」のひとつとして数えられる「寢覚の床」は、この時期、巨大な花崗岩と川面のエメラルドグリーンに、赤や黄色に色づいた木々が彩りを添え、鮮やかなコントラストの絶景を創ります。浦島太郎がこの地で玉手箱をあけて、長い夢から覚



めたとされる伝説から「寢覚の床」と呼ばれます。

⑧2～3日 白雲座歌舞伎 (岐阜署 下呂市)

白雲座は下呂市門和佐にある白山神社境内にある芝居小屋で、毎年秋祭り地歌舞伎が上演されます。江戸時代に始まり、今なお受け継がれている地域伝統芸能で小学生による子ども歌舞伎も行われます。

⑨3日～11日 夕森もみじまつり (東濃署 中津川市)

夕森公園内でウォーキングしての紅葉狩りはいかがですか。土曜日・日曜日には各種イベント(フォトコンテスト・公園内にあるスタンプを集めて記念品をもらえるなど)を開催しています。

⑩2日～4日 紅葉巡り (南信署 大鹿村)

南アルプスなどのビューポイントや湧き水を巡る無料シャトルワゴンが運行されます。(道の駅「歌舞伎の里大鹿」発着)

⑪4日 皇女和宮御下向行列 (中信署 塩尻市)

皇女和宮のお輿入れの様子を再現する「皇女和宮御下向行列」が開催されます。行列以外にも奈良井宿と隣の藪原宿で各

種イベントが行われます。

⑫ 4日 第四十三回ひだ金山清流マラソン (岐阜署 下呂市)

美しい山々、自然豊かな清流馬瀬川沿いを、爽やかな秋の風を感じながら走るランニング大会です。走った後は、温泉(割引あり)やプール(無料)でリフレッシュ。表彰式終了後には、お楽しみ抽選会があります。

⑬ 4日 小諸ふれ愛チャリティーマラソン (東信署 小諸市)

高地トレーニングでも活用されている千メートル林道周回コースを中心に、北海道地震・西日本豪雨災害支援活動として競技時間二時間(時間内であれば周回コースを何周回しても可)のチャリティーマラソンが開催されます。

⑭ 11日 大鹿村産業文化祭 (南信署 大鹿村)

村民の農産物、工芸品、各種作品が展示されます。各種団体の発表、出店があります。(会場：大鹿村大河原 大鹿村交流センター)

【中旬】

⑮ 中旬 金華山からの絶景夜景が見頃

(岐阜署 岐阜市) 金華山国有林(標高三一九メートル)の頂上



には岐阜城があり、山頂付近へはロープウェイやドライブウェイがあるので、登山でなくても行くことができます。空気が澄んでいるこれからの時期は、岐阜市街や尾張方面の絶景夜景が車窓からでも楽しめます。(ドライブウェイの通行は二十一時まで)

⑯ 15日 上高地閉山祭

(中信署 松本市 上高地) 今シーズンの無事に感謝し上高地のシーズンの終わりを告げる閉山式が、河童橋においてしめやかに執り行われます。

⑰ 18日 上蔵収穫祭 (南信署 大鹿村)

上蔵地区の住民が丹精込めて栽培した農作物の販売のほか、地元の野菜を使ったおいしい鍋料理も振る舞われます。(会場：大鹿村大河原上蔵お堂のやかた)

【下旬】

⑱ 21日 湯の丸高原冬山安全祈願祭 (東信署 東御市)

東御市にある湯の丸スキー場のオープンに当たり安全祈願が開催されます。



⑲ 23日 野沢温泉スキー場オープン予定

(北信署 野沢温泉村) 二〇一八・一九シーズンの営業開始予定です。

編集長だより あなたの写真を！お待ちしております

☆寒くなってまいりました。山からは雪の便りも聞かれますが、里では秋真只中。この時期にしか見られないコントラスト、紅葉から冬への変貌を見に、お近くの山へ出かけてみてはいかがでしょうか。

☆きれいな風景、場所を探しに、国有林へ出掛けてみませんか。ステキな写真が撮れましたらmigoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。(1メール容量2MB以内)

☆特にステキな写真は、広報誌「中部の森林」の表紙に掲載し紹介させていただきます。あなたの写真が来月号の表紙を飾るかも

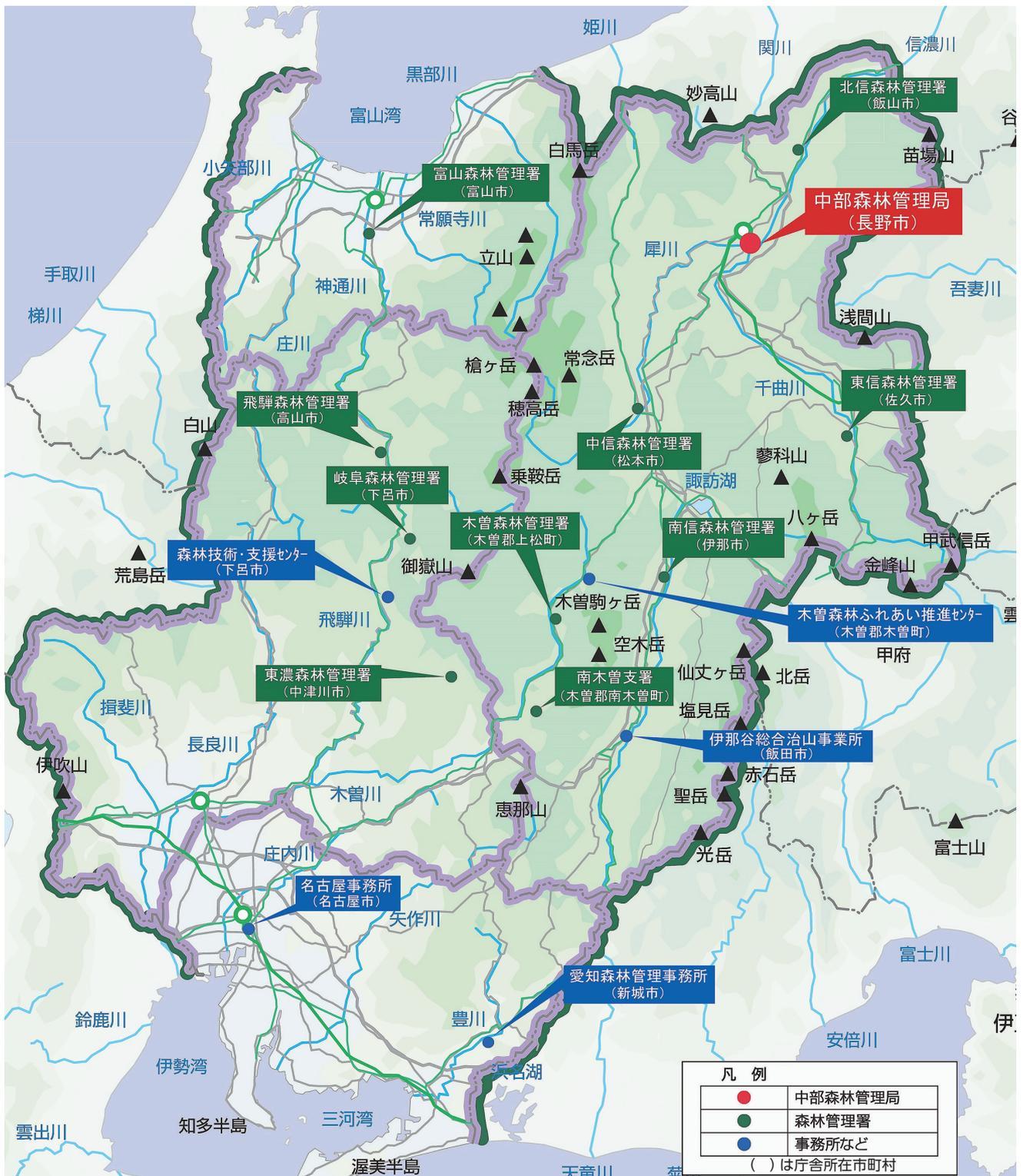
しれません。投稿をお待ちしております。

ご投稿には、氏名又はニックネーム、整理番号(11月なら①～⑨のいずれか)、撮影日を記入してお送りください。感想やコメントを添えて頂いても構いません。

☆森林でのお仕事紹介コーナー、学生さんの進路検討の参考になると嬉しいです。

出前での就職説明会も出来ますので、お気軽に最終ページのお問合せ先へご相談ください。

*訂正：9月号の表紙、右岸歩道は「左岸」の間違えでした。訂正してお詫びいたします。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
※南木曽支署	〒399-5302	長野県木曽郡南木曽町吾妻3859-39	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149

※南木曽支署は平成31年1月（予定）まで庁舎工事のため上記に移転中です。